

# 今後検討すべき課題と 当面のスケジュール

## R6.3.21

# (1) さぬき市の公共交通において今後検討すべき主な課題

## ① バス停までが遠い地区に住む交通弱者への対応、コミュニティバスとの役割分担・連携策

### 対策例

- ・ デマンド交通による面的対応（乗合輸送になるため一定のまとまった需要が必要）※実験運行実施中
- ・ 乗用タクシーの活用（主に利用が少ない時間帯（午後）の活用につながる利用助成等）
- ・ NPOやボランティア等による輸送（生活支援体制整備事業との連携）

## ② 文理大移転後を見据えた新たな需要（利用者）の開拓、収入確保による過度な財政負担増の抑制

### 対策例

- ・ 福祉施策等との連携による利用促進（フレイル予防や免許返納等と絡めた「楽しめる利用促進活動」）
- ・ 沿線地域と連携した利用目標の設定、持続性を高めるための必要に応じた地域負担（運賃見直し等）
- ・ 沿線関係者（商業施設等）からのスポンサー料獲得
- ・ ランニングコストを含めて過度な財政負担を生じない範囲での利用環境向上策（瀬戸内国際芸術祭に向けたキャッシュレス化等）

## ③ 過度なマイカー利用による環境負荷の軽減（CO2排出量の抑制）

### 対策例

- ・ 学校や事業所（市役所を含む）等における過度なマイカー利用抑制を目的としたモビリティ・マネジメントの実施

## ④ その他

### 対策例

- ・ 民間公共交通（路線バス・タクシー・鉄道）との役割分担
- ・ 行政による交通弱者等への公共交通利用助成（公共交通事業者の存続支援を兼ねた取組）

## (2) 当面のスケジュール案と各主体の役割

### ■令和5年度

- ・デマンド実験運行の中間評価（今回）

### ■令和6年度

- ・デマンド実験運行の評価（8月頃）
- ・令和7年度からのコミュニティバス等のあり方検討
- ・路線再編に係る交通事業者との協議
- ・地域公共交通計画中間評価

### ■令和7年度

- ・令和6年度の検討結果に基づく運行（4月1日～）  
※徳島文理大学香川キャンパス高松市移転：4月1日
- ・令和6年度の検討結果に基づく利用促進活動始動

### ■それ以降

- ・継続的な利用促進活動
- ・地域公共交通計画の見直し（令和8年度）  
※現計画の最終年度：令和8年度
- ・令和12年度からのコミュニティバス等のあり方検討開始（令和10年度）  
※造田地区における新県立高校（市内3校統合）の開校：令和12年4月予定

さぬき市地域公共交通計画に示された各主体の役割

